



諏訪共立病院

回復期

リハビリテーション病棟

自立した日常生活を送るお手伝いをします



患者さん・利用者さん
の立場に立って、
だれもが、いつでも安心して受けられる
医療・福祉・介護をめざす



諏訪共立病院は 1974 年の創立以来一貫して、「患者さん・利用者さんの立場に立って、だれもが、いつでも安心して受けられる医療・福祉・介護をめざす」を理念として各種事業を行ってまいりました。

全日本民主医療機関連合会（民医連）に加盟し、『いのちと健康は無差別・平等であるべき』の考えから、差額ベッドは設けず、常に住民要求を第一に考え、心身の治療だけでなく経済面や社会面まで含めたケアまで行える医療機関であるべく日々努力しております。

回復期リハビリテーション病棟とは？

回復期リハビリテーション病棟は、病気や外傷により行えなくなった日常生活に必要な動作（食事、トイレに行く、着替えをする、歩くなど）を練習して、寝たきりの予防と自宅退院を目指すことを目的とした病棟です。

脳卒中や骨折、手術後などの廃用症候群となった患者さんを対象にし、集中的なリハビリテーションを提供します。患者さんの状態に合わせ、1日に2～3時間のリハビリテーションを毎日行っています。

当院における回復期リハビリテーション病棟の特徴

- ・公共交通機関の利用や自宅での動作など、スタッフ同行での外出練習も積極的にを行っています。
- ・朝と夜のパジャマ⇄普段着への着替えを実施することで生活リズムを整えていきます。
- ・看護師、介護士、ソーシャルワーカー、療法士といった多職種で構成するチーム活動を行っています。
- ・必要な患者さんに対しては、外部からの往診も実施しています。
※入院中に具合が悪くなった際、検査が必要になった場合には、当院の一般病棟や他院へ転棟・転院していただくこともあります。

多職種合同チーム活動（看護師・介護士・ソーシャルワーカー・療法士）の紹介

○病棟活動チーム

入院生活では、日時や季節感が薄れていきやすいです。そこで、月に1～2回レクリエーションを企画し、季節に合わせたイベントを行っています。

例) お花見会、ボランティアによる演奏会、運動会、クリスマス会など

○排泄支援チーム

排泄チェックシートを用いて、便秘や失禁など患者さんの悩みを知り、排泄困難の原因を考え、それぞれの患者さんに適した排泄用具の選定をするなど、排泄の自立に向けて支援していきます。

○退院後調整チーム

退院後2週間から1ヶ月で患者さん宅を訪問か電話連絡し、退院後の生活で困っていることや、入院中の話を聞かせていただき、病院でのケアの質を高めること、患者さんの過ごしやすい環境作りを心掛けています。

集団レクリエーション



当院における回復期リハビリテーション病棟の実績

当院では数日間でも住み慣れた地域で生活できることを目指しています。

	2018年度	2019年度	2020年度
在宅復帰率	92.0%	90.1%	89.8%

医師

回復期リハビリ病棟医長の森です。

当院では多職種の情報交流を多く行うことで、それぞれの役割を十分に発揮できるようにしています。医師は患者さんの体調を万全にすることに努め、リハビリの効果を最大にする環境を作ります。

当院は小規模病院のため在宅の調整に長けています。リハビリの目的は身体能力を上げることだけではなく、退院後に安定した生活が送れるようにすることです。患者さんがその人らしく生活できるようお手伝いさせていただきます。病院でお会いできることを楽しみにしています。



看護・介護部

私たちは医学的知識を持ち、患者さんの状態を把握し、リハビリが安全に行なえるように体調管理を行ないます。『見守る』『待つ』『ともに考える』看護・介護理念を大切にします。

【大切にしている事】

- ・入院時から退院後の生活を見据え、患者さんに必要な動作の獲得やできることを増やせるように援助します。
- ・長期間の入院生活がストレスとならないように患者さんに寄り添い、ともに目標を達成できるように支えます。



朝の血圧測定



ケアの様子

お茶立てました先生、どうぞ



サンルームでの活動一例

栄養科

私たちの業務は、入院患者さんの栄養管理を行うことです。

医師の指示のもと、一人ひとりの患者さんの病態に適した食事形態で調理提供しています。

安心・安全はもちろんのこと、患者さんの生活を尊重した栄養管理を目指しています。

【大切にしている事】

- ・一つ一つ手作りで調理しています。
- ・旬の食材を使い、季節を感じて頂けるように行事食にも力を入れています。
- ・塩気の薄さがあっても、美味しいと言ってもらえるような料理を提供できるように日々努力しています。
- ・病室を回り、患者さんの声を聴き、食べやすいように食事内容の変更・検討をしています。
- ・院外にも赴き講義活動など行っています。

行事食の一例



ひな祭り



秋の味覚弁当

食形態の一例



常食



軟菜食

リハビリテーション科

私たちは、入院以前の生活に戻れるように「体の機能」「脳の機能」の両面から検査・分析し、徒手療法・運動療法・物理療法・日常生活動作練習などを用いて治療を行います。障害が残っても日常生活の工夫や環境の設定を一緒に考え、患者さんの生活スタイルを尊重しつつ支援していきます。

【主なリハビリテーションの内容】

- ・日常生活動作
(食事、着替え、入浴等)
家事動作のリハビリ
- ・仕事復帰や運転再開希望者に対する検査やリハビリ



調理練習



掃除練習



自動車運転評価

- ・起きる、座る、立つ、
歩くといった基本動作の
リハビリ
- ・痛みの軽減を目指す
リハビリ



歩行練習



車の乗り降り練習



階段練習

- ・嚥下障害、構音障害や
失語症に対するリハビリ



摂食練習



言語訓練

地域連携相談センター（医療福祉相談室）

私たちは、入院される患者さん一人ひとりに、医療ソーシャルワーカーとしてご家族と一緒に考え解決できるよう支援していきます。

【支援の内容】

- ・病気や障害に伴い生活上の不安や心配事の相談。
- ・患者さんに合った介護福祉制度の紹介、利用の支援。
- ・本人や家族の希望に沿った退院先を一緒に考えます。



当院回復期リハビリテーション病棟の入院中の流れ 【在宅復帰例】

入院

入院時：入院時面談・入院時説明

参加者（本人・家族・医師・看護師・ソーシャルワーカー・療法士）

入院後 1 週間以内：自宅訪問（家屋調査）※全員が対象ではありません。

リハビリテーション

入院後 2 週間以内：目標設定面談・カンファレンス

参加者（本人・家族・医師・看護師・ソーシャルワーカー・療法士）

リハビリテーション

入院中 1 回／月：カンファレンス

参加者（医師・看護師・ソーシャルワーカー・療法士）

リハビリテーション

自宅訪問（外出練習・家屋評価・環境調整）

リハビリテーション

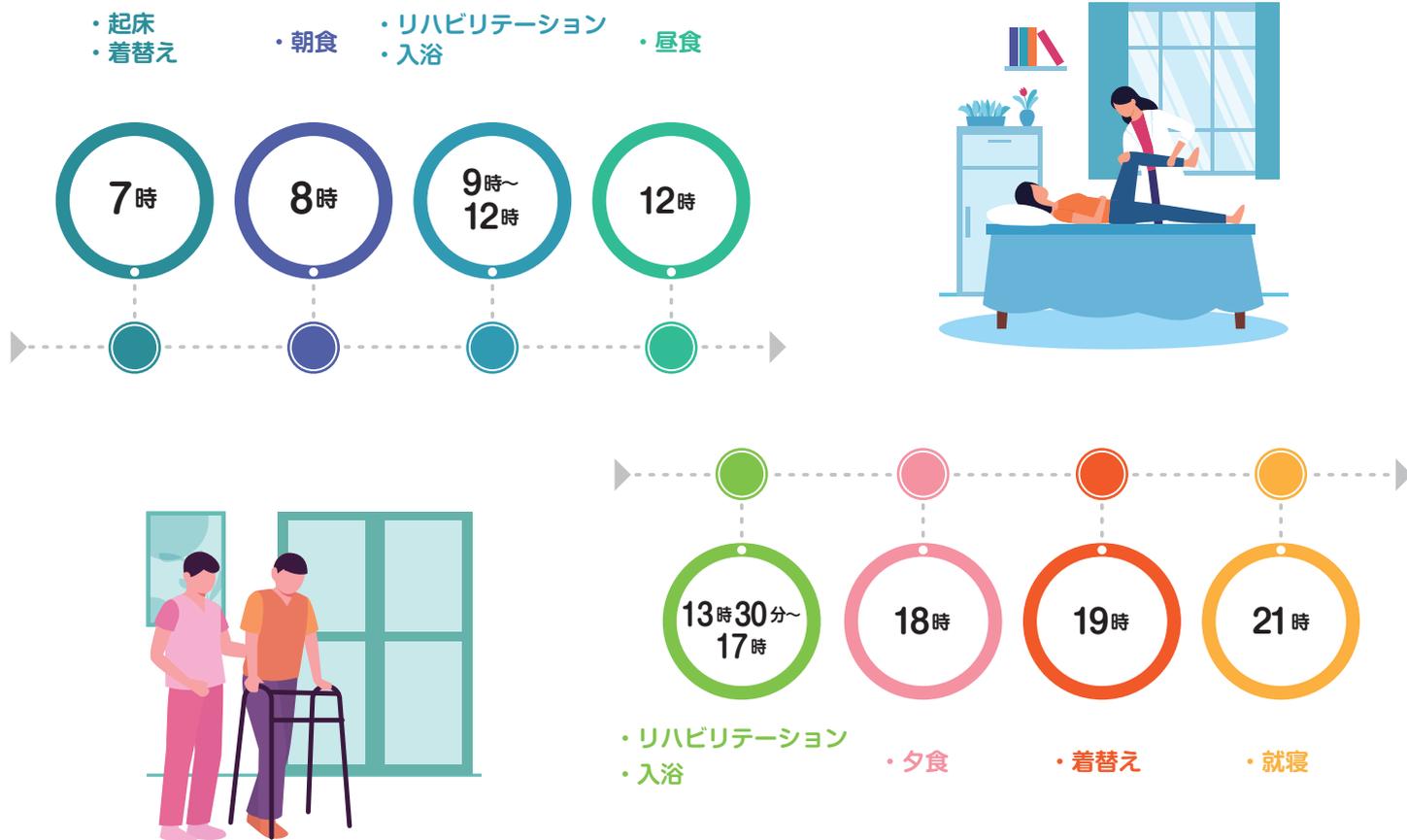
退院前 1～2 週間：退院前カンファレンス

参加者（本人・家族・看護師・ソーシャルワーカー・療法士・ケアマネジャー・
介護保険事業所・福祉用具業者など）

退院



当院回復期リハビリテーション病棟 スケジュール（例）



※リハビリテーション以外の時間は、部屋でゆっくり過ごすか、体操や軽作業、趣味活動をしていただいています。

入院についてのご案内

当院に入院される際には、入院時必需品レンタルシステム（CSセット）のご利用をお勧めしています。

○当日にお持ちいただくもの

- ・保険証（医療保険証、介護保険証、身体障害者手帳など）
- ・内服薬、お薬手帳
- ・洗面用具（髭剃り、くしなど）
- ・普段着、靴下、下着、洗濯物を入れる袋
- ・テレビ用イヤホン（売店で販売しています）
- ・運動靴（革靴、スリッパはご遠慮ください）

《持ち物は全てお名前を書くようお願いします》

○その他

食事用具は当院に用意してあります。

○転院の際の交通手段について

当院では送迎を用意しておりません。

お手数ですが現在入院されている病院の相談員にご相談ください。



※当日は指定された時間に当院へ到着するようご協力をお願いします。また指定された時間に遅れる際には、当院回復期リハビリテーション病棟（0266-28-3927）にご連絡下さい。

諏訪共立病院理念

患者さん・利用者さんの立場に立って、だれもが、いつでも、安心して受けられる医療・福祉をめざします。

諏訪共立病院基本方針

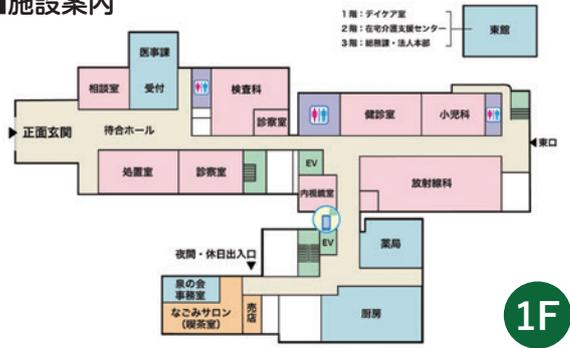
私たちの病院は、地域住民の「いつでも安心してかかれる自分たちの病院が欲しい」という思いからつくられました。私たちは、地域住民と共に、いのちと平和を守り、医療・介護・福祉を充実させていくために以下のことを宣言します。

- 一、私たちは、明るく誠実な対応に心がけ、患者さん、利用者さんの人権を尊重し、安全・安心・信頼、質の高い医療・介護・福祉を提供できるよう、常に学び、サービス向上に努めます。
- 一、医療と介護が連携を強め、「切れ目なく保障される無差別・平等の地域包括ケア」「誰もが安心して暮らせるまちづくり」に取り組みます。
- 一、差額ベッド料を一切いただかない姿勢を貫き、経営改善に努め、地域住民の共有の財産である病院を守ります。
- 一、生命を守る私たちは、戦争政策を絶対に許すことはできません。二度と戦争はしないと誓った日本国憲法第九条を守る運動を積極的に進め、戦争しない国の歴史を守り抜き、戦争法のすみやかな廃止を求めて、行動します。

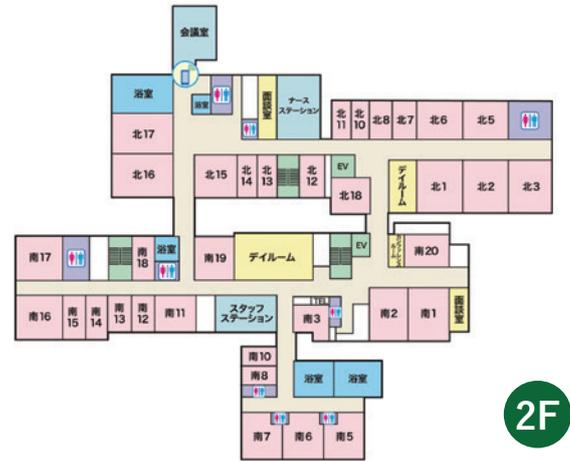
2004年9月1日制定 2016年1月20日改定



施設案内



1F



2F



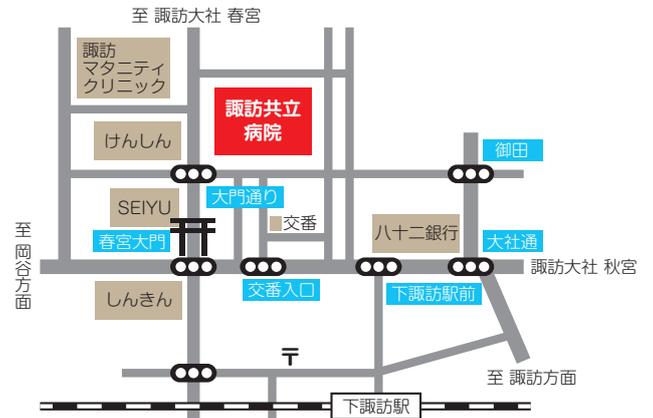
3F

診療科目

内科、外科、小児科、心療内科、訪問診療科、禁煙外来、リハビリテーション科

施設

一般病棟 56床 (うち地域包括ケア病床 12床)、回復期リハビリテーション病棟 54床



■電車でお越しの方

JR「下諏訪駅」下車。
徒歩約10分、タクシー約3分

■お車でお越しの方

長野自動車道「岡谷IC」より
国道20号線を諏訪方面へ約15分

社会医療法人 南信勤労者医療協会

〒393-0077 長野県諏訪郡下諏訪町矢木町 214

諏訪共立病院

TEL:0266-28-2012 FAX:0266-28-5241